

高梁市議会に関する アンケート調査結果

■調査実施の背景と目的

高梁市議会では、平成22年11月に議会の活性化と改革に向け、議会基本条例の制定、市民へのわかりやすさと市民参加などを検討することを目的とした議会改革調査特別委員会を設置しました。

今回の「市議会に関するアンケート」は、市民にわかりやすく開かれた議会づくりに向けて、市民の皆様の議会に対する率直な意見・要望を把握し、今後の議会改革のための資料として活用するとともに、改革に反映することを目的として実施し、963名の方から回答をいただきました。本アンケートの趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきましたことに厚くお礼申し上げます。

■調査の方法

1 調査地域	高梁市全域
2 調査対象	20歳以上の市民
3 対象者数	2,000人
4 抽出方法	旧市町別人口・年齢比率による住民基本台帳からの無作為抽出 旧高梁市 1,213人 旧有漢町 148人 旧成羽町 296人 旧川上町 197人 旧備中町 146人
5 調査方法	郵送による無記名アンケート調査
6 調査期間	平成23年4月26日～5月25日

■回収状況

1 発送数	2,000人
2 回収数	963人
3 回収率	48.2%

■調査項目

- 1 調査対象者の属性（問1、問2）
- 2 市議会への関心度の把握（問3、問4、問5）
- 3 市議会に対する評価の把握（問6、問7）
- 4 議会改革に対する意向の把握（問8、問9）
- 5 議員定数に対する意向の把握（問10、問11）
- 6 議員報酬に対する意向の把握（問12、問13）
- 7 政務調査費に対する意向の把握（問14）
- 8 議会への全体的な意見・要望の把握（問15）



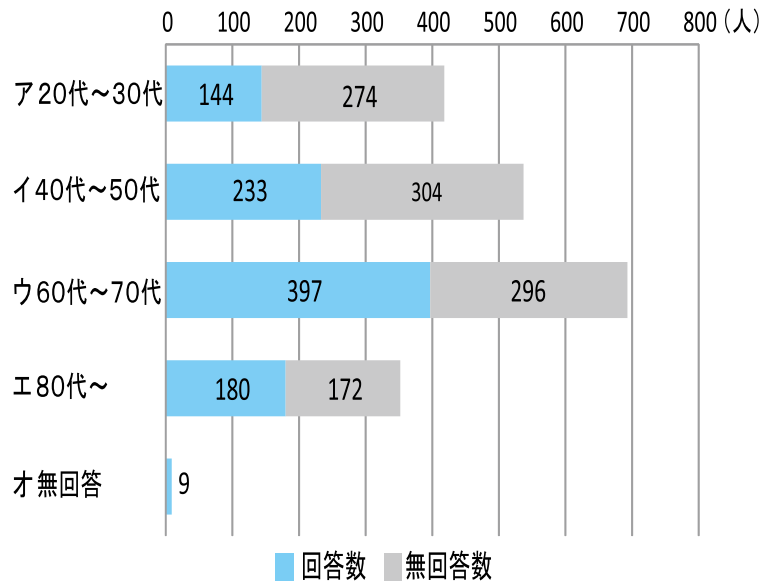
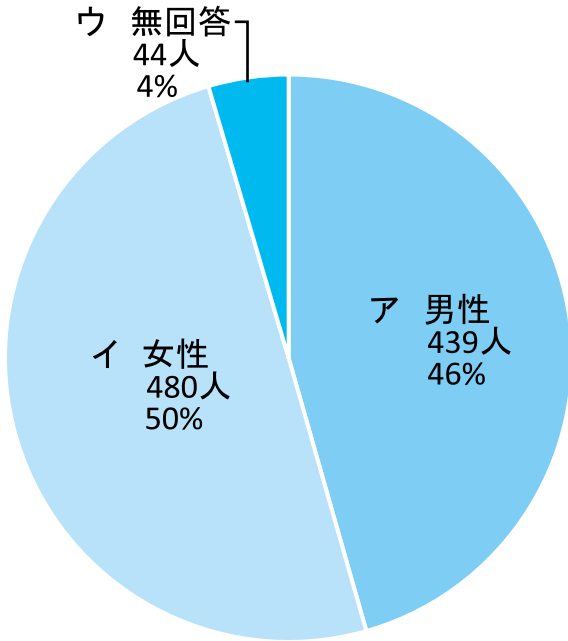
議員研修会を開催しました

5月9日（月）、高梁市文化交流館において高梁市議会議員研修会を開催しました。当日は講師として京都府京丹后市議会の大同衛前議長を招き、「目的ある議会改革と実現するための議会基本条例」と題して、市民アンケートの実施方法や議会基本条例制定に向けた取り組みなどを学びました。

集 計 結 果

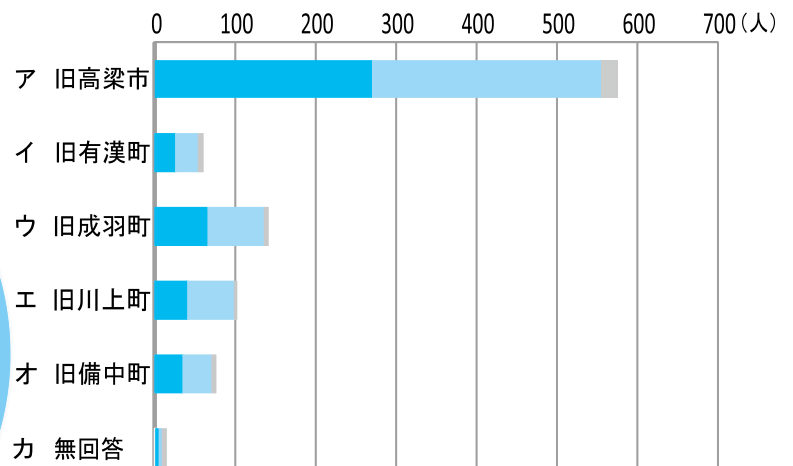
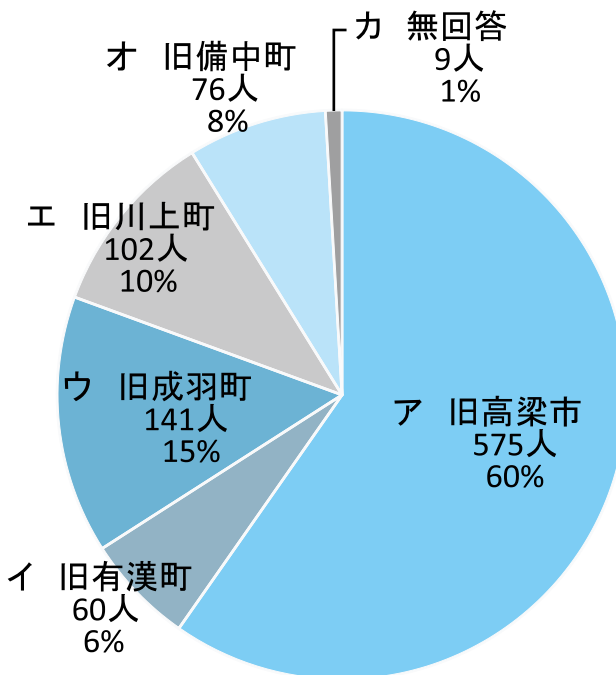
問 1 あなたの性別と年齢を教えてください。

無作為抽出で選ばせていただいた2,000人、男性948人・女性1,052人の方から963人(48.2%)の回答をいただきました。内訳は男性が439人(46%)、女性が480人(50%)、無回答が44人(4%)でした。



問 2 あなたのお住まいについて教えてください。

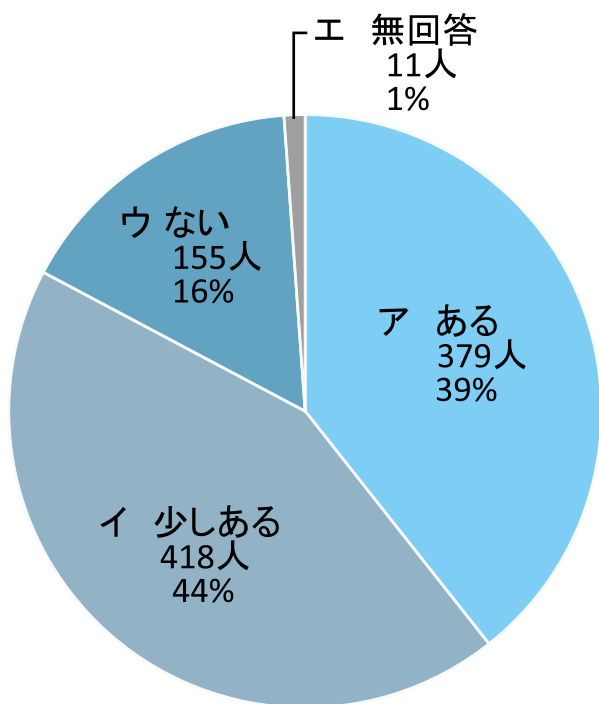
旧市町の人口に応じて選ばせていただいたので、回答率の大きな差はありませんが、地区別の回答率は旧備中町が52.1%で、旧川上町が51.8%、旧成羽町が47.6%、旧高梁市が47.4%、旧有漢町が40.5%の順でした。



	ア 旧高梁市	イ 旧有漢町	ウ 旧成羽町	エ 旧川上町	オ 旧備中町	カ 無回答
男性	270	26	66	41	35	1
女性	285	28	70	58	36	3
無回答	20	6	5	3	5	5

問3 市議会に関心がありますか。

「少しある」が44%と最も多く、「ある」の39%を合わせると8割以上の方が市議会に関心を持っている状況にあります。

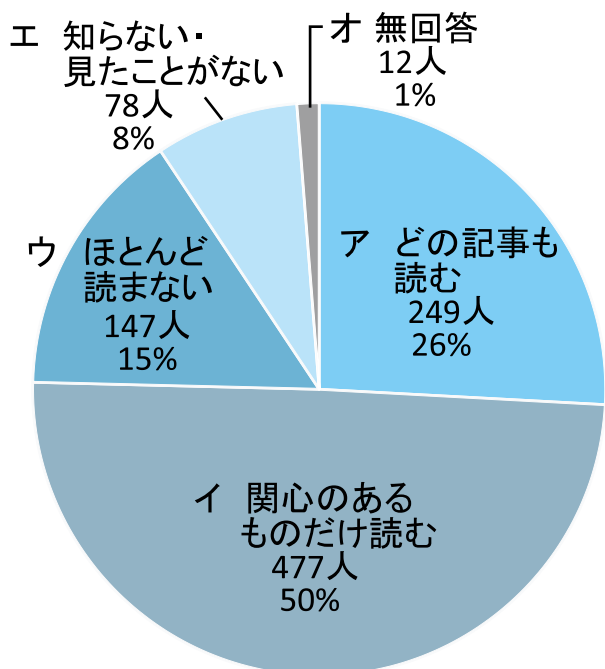


主な意見（要約筆記）

- ・ 市政の舵取りがきちんとできているか。
- ・ 高梁市の今後の発展と少子高齢化による市の現状をどうするのか見守っていききたい。
- ・ 各議員の考え方、活動状況に関心があり、どんな質問をされるか興味深い。
- ・ 情報紙やケーブルテレビで質問等の様子を見ると興味、関心がある。
- ・ 高梁市民として、暮らしやすい高梁、活気のある高梁であるために市議会に対する期待は大きい。
- ・ 不条理や納得いかないことが決定されることが多々あるので、無関心ではいけないから。
- ・ 高梁の改革をもう少しきちんと考えてほしいと思う。
- ・ 議員さんは何もしてくれないから。
- ・ 税金が正しく使われているのか、市民のことを考えているのか知りたい。
- ・ 新聞記事に取りあげられる内容には目を通すが、ケーブルテレビの中継をすべて見るとか、傍聴しようと思うほど関心がない。

問4 「市議会だより」を読んでいますか。

「どの記事も読む」26%、「関心のあるものだけ読む」50%を合わせると約8割の方が何らかの形で関心を持って市議会だよりを読まれています。

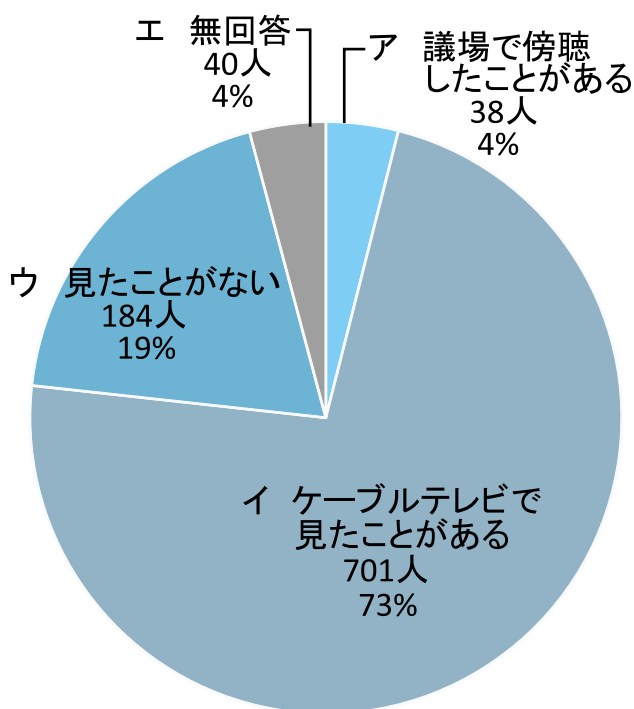


主な意見（要約筆記）

- ・ 私たちの生活に関係のあるものは読む。
- ・ 私たちが選んだ人はどんな活動をしているのか関心があるので、どの記事も読む。
- ・ 皆さんの考えがよくわかり、勉強になるから。
- ・ 議会中継と比較して、どこにポイントが置かれていたのかがわかるから。
- ・ 議員一人ひとりの思想や行動を判断するのに最適であり、高梁の進む方向がわかるから。
- ・ 市議会についての貴重な情報源の一つだから。
- ・ 読むに足りない記事もあり、内容が乏しい。
- ・ 実際に読んでも当たり前のことしか読み取れず、いま一つおもしろみに欠ける。
- ・ 若者が関心をもてる内容が少ない。
- ・ 「市議会だより」をもっと一般市民にもわかるように文言をやさしくしたり、解説を入れてほしい。

問5 市議会の会議などを見たことがありますか。

「ケーブルテレビで見たことがある」が73%と圧倒的に多く、「議場で傍聴したことがある」は4%とわずかでした。

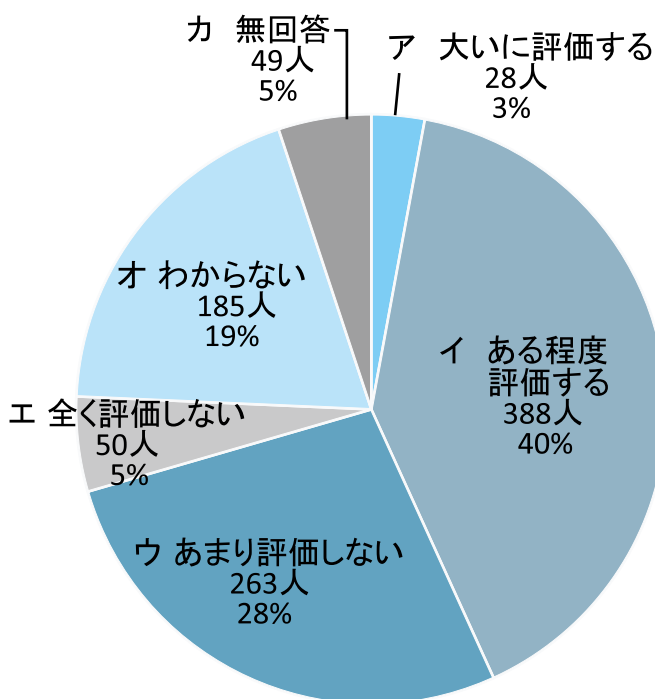


主な意見（要約筆記）

- ・ 団体などで連れて行ってもらい傍聴した。
- ・ どんな会議をしているのか一度傍聴したいと思ったから。
- ・ その日にあったことがよくわかる。
- ・ 議会が開かれている日時などわからないので、広報たかはし等で議会日程などを報告してほしい。
- ・ 全部見るわけではないが、気になる案件の時は見ることもある。
- ・ 実際にどうということが市議会で議論されており、どう市政が進んでいくのかをリアルタイムで知りたいと思ったから。
- ・ 市政に関心があるから見る。
- ・ ケーブルテレビで見るが、一般質問だけでなく議会の全てが見たい。
- ・ 仕事があるので傍聴できない。
- ・ 地元議員がおらず議会を積極的には見ようと思わない。

問6 現在の市議会をどのように評価しますか。

「大いに評価する」は3%とわずかですが、「ある程度評価する」が40%を占めており、「あまり評価しない」、「全く評価しない」を合わせた33%を上回っています。

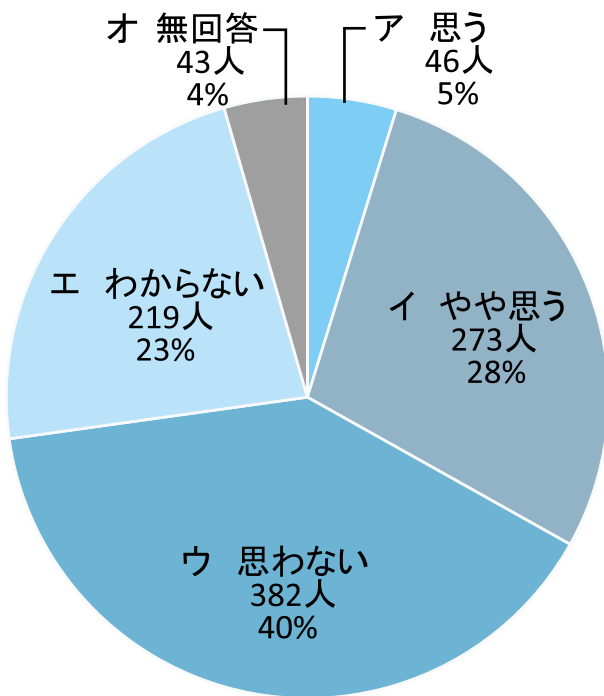


主な意見（要約筆記）

- ・ 議員の活躍ぶりについて大いに評価する。
- ・ 「ゆ・ら・ら」、「成羽病院改築」等では市議会の存在感を実感した。行政の言いなりになっていたのでは議会の意味がない。
- ・ 行政の対応及び結果までフォローできていない。当たり前のことしか言っていない。
- ・ 本当に市のこと、市民のところを考えて討議がなされているとは思えない。議会の内容、質問が乏しい。
- ・ 執行部の案に従っているだけで各議員一人ひとりに創造性が見受けられない。
- ・ 言葉、言い回しなどにこだわりすぎる。
- ・ 発言に対して責任がない。
- ・ おとなしすぎる。もっと論戦があってもよいのではないか。
- ・ 行政のチェック機能だけでなく、議員提案をどんどんしてほしい。
- ・ わかりきったことは質問しないでよい。

問7 あなたの意見や市民の声が市議会に反映されていると思いますか。

「思う」、「やや思う」を合わせても33%と低く、逆に40%の方が、市民の声が反映されていないとされています。

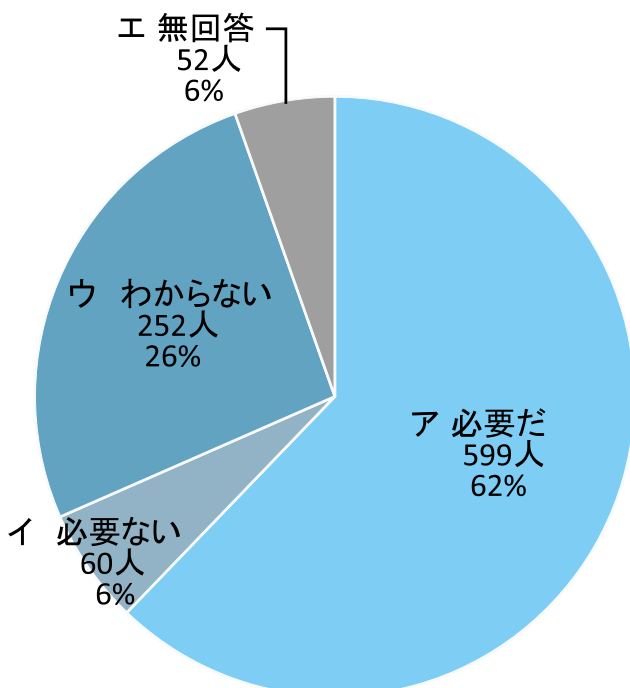


主な意見（要約筆記）

- ・ 議員の声は市民の声だと思ふ。市議会に反映されると思ふ。
- ・ 大きな事業については、市民の声は届いていない。
- ・ 個々の議員から要望を聞かれたことはない。
- ・ 市民と議員がつながっていない。
- ・ 市民が意見を言う場が少ない。
- ・ 議員は特定の人意見の聞いているのかもしれないが、ほとんどの市民は議員と話ができない。
- ・ 不平不満があってもそれを伝えることができない。
- ・ 議員は市民の声を聞こうとしない。自分の意見を持つのはいいが、人の話を聞く姿勢が足りない。
- ・ それぞれ議員自らが民意を聞いているか？選ばれたから好き勝手にしてもよいと思っていないか。

問8 市議会の改革は必要だと思いますか。

「必要ない」という人はわずか6%にすぎず、「改革が必要だ」という回答が大半を占めています。

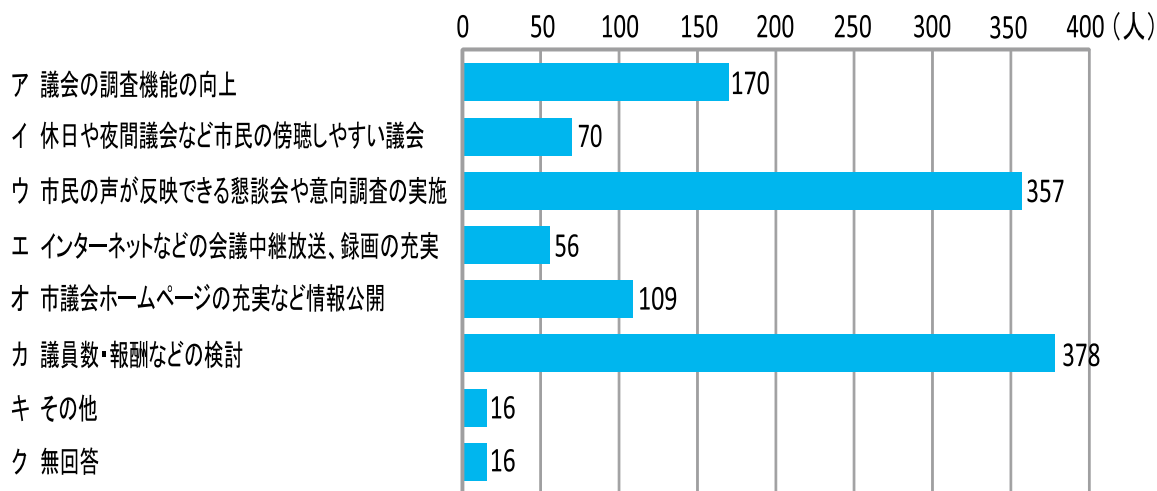


主な意見（要約筆記）

- ・ 改革は常に行うべき。
- ・ 議員と地区住民との政策形成・考え方などが市民には伝わっていない。
- ・ 市民に尋ねる前に議員自身で考えるべき。
- ・ 常に進化し続ける市議会であってほしい。
- ・ 執行部の反論を認めて、より活発な議論を。
- ・ 自分のことではなくみんなのことを考えてほしい。
- ・ 高梁市をよくするための勉強会を年2回程度するべき。
- ・ 市政に対する市民の関心をより高めること。
- ・ 市民に開かれた議会とするため、議会基本条例を制定し、市民や団体との意見交換や議会報告会の義務化など行う必要がある。

問 9 問 8 で「市議会の改革が必要だ」を選ばれた方に質問します。議会が改革に取り組む課題は何だと思いますか。（複数回答可）

「議員数・報酬などの検討」が最も多く、次に「市民の声が反映できる懇談会の開催や意向調査の実施」が多くありました。

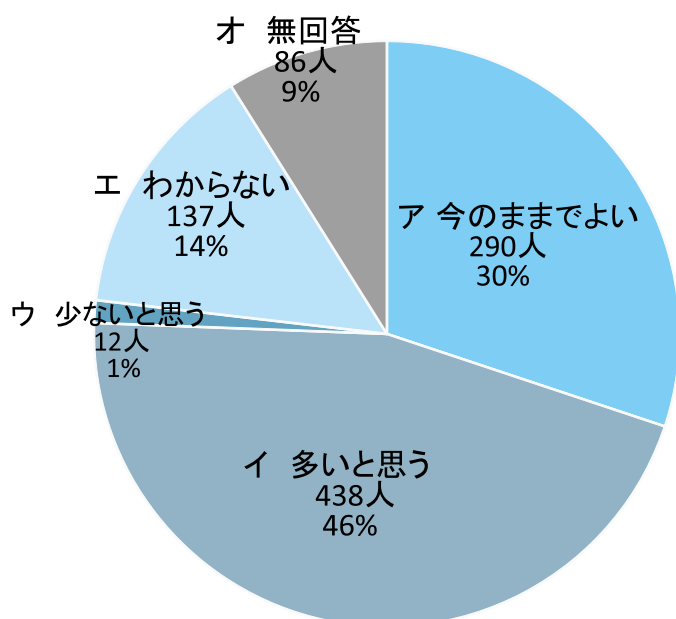


主な意見（要約筆記）

- ・ 土日、祝日、夜間に議会を開会すれば市民参加ができる。
- ・ 年代ごとに懇談会を開催したらどうか。
- ・ 少なくとも年 1 回は、地元議員が中心になって議会報告や意向調査をしてほしい。
- ・ テレビでの議会中継、インターネットでの情報を充実してほしい。
- ・ 定期的に住民と対話ができるシステムの構築。

問 10 議員定数は 22 人（次期改選時から 20 人になります）（法律での上限 26 人）ですが、議員数についてどう思いますか。

「多いと思う」が 46% と約半数を占めていますが、「今のままでよい」も 30% ありました。

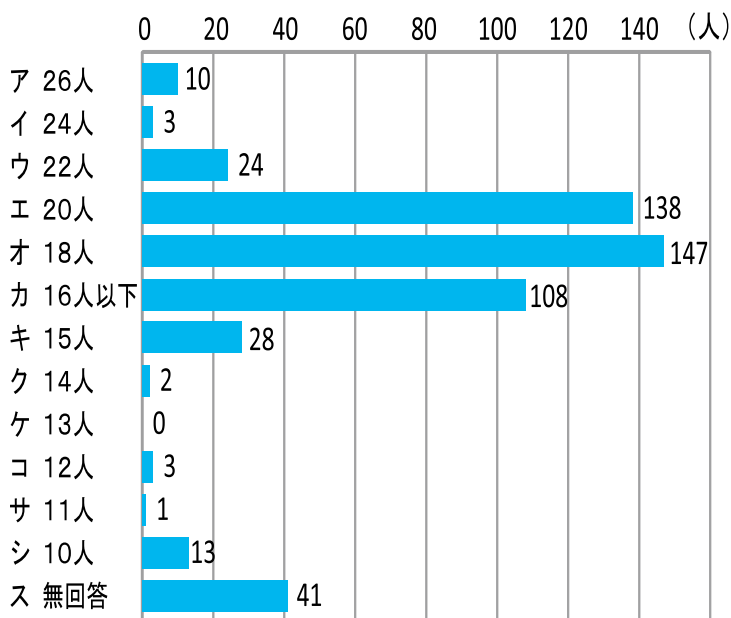


主な意見（要約筆記）

- ・ 地域性もあると思うが、人口の割には多い。
- ・ 数ばかりで、よい議員活動ができていない。
- ・ 高梁市の人口に対して適当だと思う。周辺山間部の少数意見も取りあげてほしい。
- ・ 市民のためにがんばるなら決して多くはない。
- ・ 委員会構成ができる最小限度の定数は必要と思う。
- ・ もっと少数にして職業として成り立つ報酬を出せばよい。
- ・ 他の地域と比較せず高梁市の実情でよい。
- ・ 次期改選時から定数 20 人の意図がわからない。市民受けのために定数減をするのは市議会の本質を忘れていると考える。
- ・ 議員数を少なくすると周辺地の声が届きにくくなる。地域間格差をなくすこと。

問 1 1 問 1 0 で「議員数が多いと思う」、「議員数が少ないと思う」を選ばれた方にお尋ねします。具体的な議員定数は何人だと思いませんか。

議員定数は「16 人以下」が 154 人と最も多く、次いで「18 人」、「20 人」の順になっています。



議員数が多いと思う主な意見

(要約筆記)

- ・市の人口が減少しているの見合うだけでいい。
- ・少人数の方がより議員としての自覚、仕事の大切さを感じてもらえるのではないかな。
- ・人数を減らして、その経費を市民の意見調査・意見交換会にあてた方がよい。

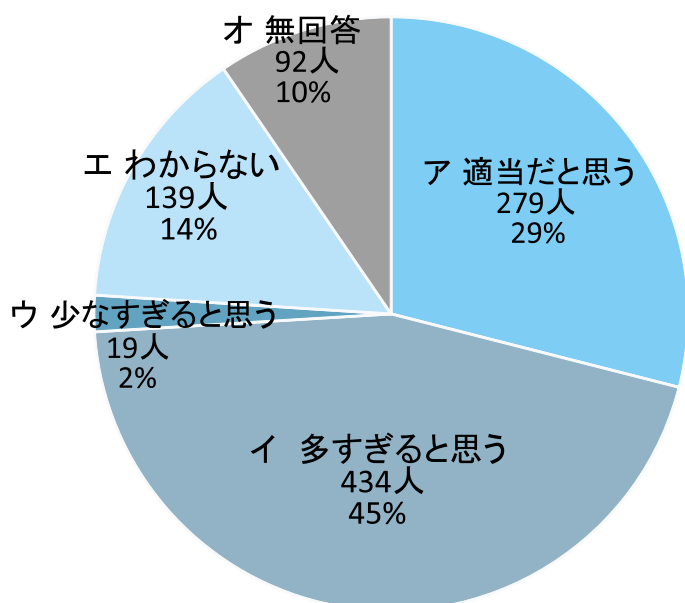
議員数が少ないと思う主な意見

(要約筆記)

- ・合併で地域が広がったので 26 人は必要。
- ・極端な定数削減は、地区間の平等性と格差に問題を生じる。
- ・一度に削減すると旧町の議員配分に不利益をもたらす。高梁の一体感醸成のため 22 人が必要。
- ・報酬を下げても多くの人に出てもらう。これが市民サービス、市の改革につながる。

問 1 2 市議会議員に毎月 32 万 5 千円の報酬（現在 5%カット）が支給されていますが、これについてどう思いますか。

「多すぎると思う」が 45%と約半数を占め、次いで「適当だと思う」は 29%でした。

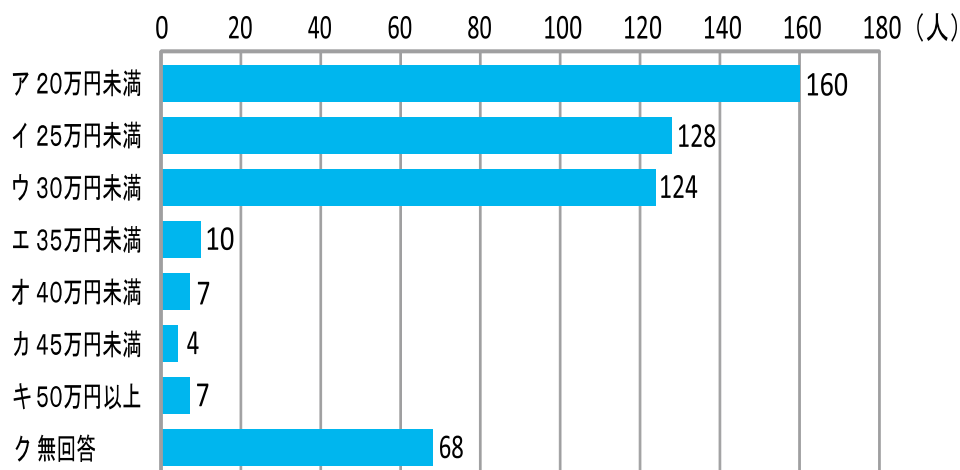


主な意見（要約筆記）

- ・日当にすべき。働いている市民は日当の人が多くボーナスのない人も多い。
- ・さらに 5%のカットがよいと思う。
- ・議員の期末手当は不要。毎日出勤している訳ではないのにサラリーマン並みの給料は多すぎると思う。
- ・今の高梁市を会社にたとえると、倒産状態である。その中で、会社役員の立場である議員の報酬が高いか、安いかなということを知ること自体、感覚を疑う。
- ・他の市町村は関係ない。選挙でよいことばかり言わずに少ない報酬で頑張ってもらいたい。
- ・市が活気溢れるよう市政を導いてもらえるなら、それなりの対価は当然だと思う。

問 1 3 問 1 2 で「報酬は多すぎると思う」「報酬は少なすぎると思う」を選ばれた方にお尋ねします。あなたが思う議員報酬額とその理由をお書きください。

20 万円未満が最も多く、次いで 25 万円未満、30 万円未満と続きます。

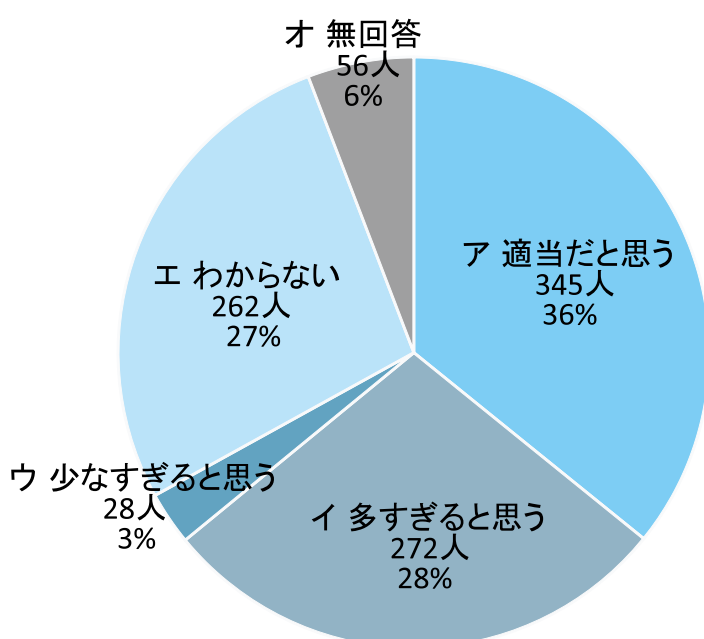


主な意見（要約筆記）

- ・ 報酬は日当制にしてほしい。
- ・ 働く日数が少ないのにボーナスが多すぎる。稼働率で支給するよう改善してほしい。
- ・ 市民の代表はボランティアでいいと思う。
- ・ 日当なら 1 日 1 万 5 千円程度。完全俸給制なら年間 500 万円を補償。ただし副業は禁止。
- ・ 他の市町村と比較して 3 5 万円程度は当然支給されるべきだ。
- ・ ある程度はないと仕事ができない。

問 1 4 議員が調査研究のために必要な費用を支給する政務調査費制度があります。現在、高梁市では月額 3 万円が支給されています。これについてどう思いますか。

「適当だと思う」が最も多く、次いで「多すぎると思う」となっています。しかし 27%の方が「わからない」と回答されており、まだ理解されていない部分があります。



主な意見（要約筆記）

- ・ もっと増額して調査研究に力を入れるべき。財源が無ければ議員報酬を減らして、その分活動する議員に回す。
- ・ 必要書類の提出、残余额の返還、使った分だけ支給されるのなら適当だと思う。
- ・ 調査研究は必要だと思う。本当に必要な人には負担してもよい。
- ・ 県下 15 市議会の中で平均的である。
- ・ そもそも調査研究がどのようなものかわからない。
- ・ 調査研究をしてどんな成果が出ているのか。市民に対してどんな還元があるのかわからない。
- ・ 調査内容で多い少ないはあると思うが、市民が少ないと思うような政務調査をしてほしい。
- ・ 必要なし。勉強するのは議員の義務だと思う。自分で出すべきだ。
- ・ 議員が政務調査を行っているとは思わない。

問 15 最後に市議会への意見、要望などがありましたらお書きください。

主な意見（要約筆記）

- ・ 議員は市民の代表なのに、態度が大きい。自分たちの立場をもっと自覚してほしい。
- ・ 選挙の時だけでなく、もっと市民と対話する機会をつくってほしい。議会として市独自の過疎等の対策について審議してほしい。
- ・ 選挙の半年位までは、意見など聞きに家に来られるが、当選されると一度も来られない。
- ・ 議会以外の議員活動がよく見えない。市民にもっとアピールしてもいいと思う。市民がもっと市政に興味を持つような活動が必要だと思う。
- ・ 行政と議会は車の両輪の如くと言うのが本当にそうなのか。市民の目から見れば一輪車のように見える。
- ・ 高梁が誇れるまちになるためには、地域エゴや格差をなくさなければいけない。そのため、全市を見渡せる立場にあるのが議員である。一人ひとりの質の向上を望む。
- ・ 議会、または議員が行政に対しての積極的な段取り役でなければならないのに、現実には職員との馴れ合いによる追認機関になっているように思う。議員一人ひとりが、高梁市の将来に対するビジョンを持ち、また現状の把握を基に議会活動を行うことが改革である。議員定数や報酬のことは、その後の話のような気がする。
- ・ 厳しい経済情勢の中で議員は高梁市の実情をもっと見て、税金の使い方を無駄のないようにお願いしたい。
- ・ 「ゆ・ら・ら」の問題では議会の存在感を改めて見直した。市民の代表として議会では真摯な討論を行って市民生活の向上を図ってほしい。
- ・ 国会のようにあげ足とりをしないで市民生活の向上のために、広い視野で議論してほしい。もう少し議員自身が法律と世界情勢にも目を向け、高梁市をよりよい町にしてほしい。
- ・ 居眠りをしないように、本気で真剣に議会に臨んでもらいたい。
- ・ 行政に対するチェックと追認だけでなく、高齢化が進み、人口減少している市の現状を認識して、市民の声を聞き、活性化の提言を積極的に行ってほしい。
- ・ 議場での発言は要旨を正確に、事務的な質問は不要。政策に及ぶ提言と地域を足に頼る活動を見せてほしい。
- ・ 一般質問の内容で幼稚なものが多い。しっかり勉強してからにしてほしい。
- ・ 議員の一般質問を聞くが、同じ質問が多いし、時間が長すぎる。もっと短時間で重複しない質問にしてほしい。
- ・ 今まで市議会というものに興味を持っていなかったが、これを機に市議会だよりも目を通してみたいと思う。
- ・ 伝統を次世代に伝えるという謙虚さが必要で「唐突なハコモノ行政」「思いつきの文化行政」を改めてほしい。こうしたアンケートは頻繁に行って、一部の人だけで物事が決定される現状を多少でも変えてほしい。
- ・ 子どもたちが、「私たちのふるさと高梁市です」と自信を持って言えるまちづくりをお願いしたい。
- ・ 超保守的な市の風土を変えないと高梁市はだめになってしまう。市議会はそこを改革してほしい。
- ・ 旧高梁市を中心に物事を進めてはいけない。周辺地域の過疎地に目を向け、ことを進めていくことが必要だ。